

授業科目名・形態	がん看護学	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	佐藤純子	開講期	3年 後期	単位数 1

【授業の主題】

がんは日本の死因の第1位である。そこで、国は死亡率の低下を目指し政策を掲げ、それによってがん医療は著しく進歩している。そこで看護師は、がんの治療過程や予後を理解し、患者とその家族が安心し、安全に治療を受けるための環境を整備していくことが求められる。ここでは、がん看護の特殊性、その倫理的課題、患者およびその家族を含めた看護の方法、予防および早期発見における活動についても学ぶ。さらに自分たちでテーマを決め、文献などから調べ、がん看護の特殊性を深めることを目標とする。

【到達目標】

- 1) より専門的ながん看護について理解を深める。
- 2) 患者およびその家族を含めた看護の方法や倫理的課題とその対処方法についても理解する。

【授業計画・内容】

第1回	がん医療の現状	第6回	ディベート・・・がん看護に関連する内容で 討議（テーマは後で提示します）
第2回	がんの治療法とがん看護の特殊性	第7回	グループワーク（発表準備）
第3回	がん患者とその家族の倫理的問題	第8回	がん看護のグループワークの発表会
第4回	外来におけるがん化学療法の看護（がん化学療法認定看護師）		
第5回	病棟におけるがん化学療法の看護（がん化学療法認定看護師）		

【授業実施方法】

主として講義形式で行い、ディベートやグループワークを取り入れます。

【授業準備】

それぞれのテーマでグループワークを行いますので図書館などで、がんに関連する内容を調べてください。また、ディベートでは多角的な視点での知識を必要とします。事前の必要と思われることについて理解を深めておいてください。

【教科書等】

成人看護学 慢性期看護論 ニューヴェルヒロカワ
系統看護学講座 がん看護学 医学書院

【参考文献】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価方法】

レポート（50%）、受講態度、出席状況など（50%）を総合的に評価します。

【主な関係科目】

成人看護学概論、成人看護方法論Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅰ・Ⅱ

【学生へのメッセージ】

机上で学んだことと臨地実習で学んできたことを統合させ、がん看護における看護実践の実際を体得して欲しいと思います。受身の授業ではなく能動的な授業姿勢を期待します。